

ソ連の解体が東ヨーロッパ諸国の変化を促した直接原因であるように誤解する表現である。

ソ連は、1986年以降、政治や経済の改革が進行し、共産党の支配体制が終わり、連邦に属していた各共和国が独立していき、1991年に解体した。この民主化の波は東ヨーロッパ諸国におよび、1989年にベルリンの壁がとりこわされ、翌年、東西のドイツは統一された。

ソ連は、1986年以降、政治や経済の改革が進行し、共産党の支配体制が終わりをつけ、連邦に属していた各共和国は独立し、1991年に解体した。東ヨーロッパ諸国でも民主化の波が高まり、1989年にベルリンの壁がとりこわされ、翌年、東西のドイツは統一された。